



ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

【令和5年度学校教育目標】

大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

新年度の一週間

～それぞれの“めあて達成”に向けて～



6年生の体育の授業です。ボールとフープを使った“体づくり運動”が行われていました。ゲーム的要素を取り入れた運動でした。



5年生は、理科の授業で“天気の変化”の観察のため、運動場に出ていました。曇りの天気の観察には、絶好でした。



3年生は、国語の授業でした。漢字ドリルを使って、新出漢字の学習を、黙々とやっていました。集中して取り組んでいました。

新しい学年になって、教育活動が本格的に始まりました。各学年で、各教科・領域の授業が始まり、学校生活のルールやマナーも再確認されます(給食当番の仕方、掃除の仕方、係活動等)。

この時期に大事なものは、“自分の今できることを、本気でやる雰囲気”です。物音を立てずに黙々と練習したり、チャレンジしたりする場面もあれば、精一杯、声を出したり、体を動かしたりする場面もあります。活動の中には、得意なことあれば、苦手なこともあるでしょう。大事なものは、“今持っている自分の力”を、まず、出すことです。安心して出せる集団の雰囲気も、とても大事です。各担任は、子ども達の状況を確認しながら、“自分の今できることを、本気でやる雰囲気”をつくるために、取り組んでいます。学校全体で、全職員で、まず4月は、この雰囲気をつくるため、がんばります。

まだ、“たたき台（案）”の段階ですが、学校、家庭、地域で一致したビジョンを持ち、“本気で”“継続して”取り組むことのできる提案をしたいと考えています。

太良町立多良小学校 令和5年度 学校経営の構想

学校教育目標

大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”

～生涯学びの基礎づくり（“学びの習慣”づくり）～



【本校正門】



“学び”とは

自分の“成長”“伸び”“変容”をめざし、内発的に動機づけられた行為・行動です。

このような学校を目指します。

- ・子ども達に、活動の仕方（学び方）をわかりやすく提示し、活動を保障します。
（教師の説明・指示の時間は、できるだけ短くし、子ども達の活動時間を保障します。）
（子ども達を、受け身にしません。）
- ・得意、苦手に関係なく、自分の今持っている力を、存分に発揮する姿を具現化します。その結果、必ず出てくる“成長”“伸び”“変容”を、教師は見逃さないようにし、子ども達の自信につなげます。
（必要な個別支援、個別指導を充実します。）
（学校生活におけるすべての場面で、その機会とします。）
- ・教師の専門性を生かし、子ども達が新たな力を求める時、適時、習得へのアドバイスをします。
（全職員、チームとして、専門性を高めます。）
- ・一人ひとりの持ち味を大事にした上で、学校全体を1チームとして束ねます。
（お互いをしっかり尊重できるチームとして、まとまります。）
（お互いのいのち、自由・人権を大事にするチームを目指します。）
- ・“迷い、悩み、不安、憂鬱、心の乱れ”等を、一人で抱え込まないチームを目指します。
（お互いの“成長”“伸び”“変容”の糧とできるよう、共感し、協働します。）
- ・学びの基盤となる“言語力向上”に、全教科・全領域を通じて取り組みます。
（言語力向上の取組自体も、“学び”の機会と捉えます。）
（苦手であっても、嫌いにしません。）
- ・家庭、地域と、学校教育目標を共有し、連携強化を図ります。子ども達の“成長”“伸び”“変容”も、共有します。